

[8]えびの市小学校体育連盟

(学校数 5校 児童数899人)

I 年間事業

期 日	曜	内 容	会 場
5月13日	月	・役員選出 ・年間活動計画検討 ・研究計画	真幸小学校
6月6日	木	・水泳大会打合せ ・研究内容検討	真幸小学校
7月24日	水	・水泳大会前日準備	飯野小学校
7月25日	木	・水泳大会 ・水泳大会反省	飯野小学校
9月2日	月	・陸上大会計画 ・研究推進	真幸小学校
10月21日	月	・陸上大会前日準備	飯野小学校
10月23日	水	・陸上大会 ・陸上大会反省	飯野小学校
12月13日	金	・研究授業 ・授業研究会	上江小中学校
2月下旬		・年間活動のまとめ ・次年度の方向性について	真幸小学校

II 事業部のあゆみ

1 水泳大会

- (1) 大会名 令和元年度えびの市小学校体育連盟水泳大会
- (2) 実施日 令和元年7月25日(木)
- (3) 会場 えびの市立飯野小学校プール
- (4) 出場者 えびの市内小学校(5校) 5・6年生選抜選手
- (5) 実施種目 ※すべての種目「飛び込みなし」

	5年生競技種目	6年生競技種目
男子	25m自由形	25・50m自由形
	25m平泳ぎ	25・50m平泳ぎ
女子	25m自由形	25・50m自由形
	25m平泳ぎ	25・50m平泳ぎ
リレー	学級対抗100mリレー	男子100mリレー
		女子100mリレー

(6) 競技方法

- ・ タイムレースとする。
- ・ 出場する種目は、リレーを除き1人1種目とする。各学年男子10名、女子10名に満たないところについては、2種目までエントリー可とする。
- ・ 各学年男子30名、女子30名を超えるところについては、各種目プラス1名のエントリーを可とする。
- ・ 5年学級対抗リレーについては各学級男子2名、女子2名出場を原則とする。
- ・ 6年リレーに限り、5年生が6年生種目に参加することを認める。
- ・ その他細部についてはえびの市小学校体育連盟による競技規則を適用する。

(7) 日程

- ① 開会式 8:50 ~ 9:00      ② 水慣れ 9:05 ~ 9:15  
 ③ 記録会 9:30 ~ 11:20      ④ 閉会式 11:25 ~ 11:35

1	6年女子50m自由形	6	6年女子25m自由形	11	6年男子25m平泳ぎ
2	6年男子50m自由形	7	6年男子25m自由形	12	5年女子25m平泳ぎ
3	5年学級対抗リレー	8	5年女子25m自由形	13	5年男子25m平泳ぎ
4	6年女子50m平泳ぎ	9	5年男子25m自由形	14	6年女子100mリレー
5	6年男子50m平泳ぎ	10	6年女子25m平泳ぎ	15	6年男子100mリレー

(8) 表彰

各個人種目、リレー種目3位まで入賞とする。

(9) 反省

- スムーズに大会の運営が行われた。塩分タブレットの配給や給水所・扇風機・ミストの設置など熱中症対策がすばらしかった。そのことで、体調を崩した児童や役員は1人もいなかった。
- 3回の休憩時間が設けられていたので、児童も役員も水分補給をしっかりとすることができた。
- 着順はビデオ判定を導入すると良い。

2 陸上大会

- (1) 大会名 令和元年度えびの市小学校体育連盟陸上大会
- (2) 実施日 令和元年10月23日(水)
- (3) 会場 えびの市立飯野小学校運動場
- (4) 出場者 えびの市内小学校(5校) 5・6年生
- (5) 実施種目

5年生競技種目	6年生競技種目
100m走	100m走
50mハードル走	50mハードル走
走り幅跳び	走り幅跳び
ソフトボール投げ	ソフトボール投げ
800m走(女子) 1000m(男子)	800m走(女子) 1000m(男子)
学級対抗リレー(100m×4)	男子学校対抗リレー(100m×4)
	女子学校対抗リレー(100m×4)

(6) 競技方法

- ・ タイムレースとする。
- ・ 出場する種目は、1人1種目とする。ただし、各学年男子10名、女子10名に満たないところについては、2種目までエントリー可とする。
- ・ 各学年男子30名、女子30名を超えるところについては、各種目1名追加のエントリーを可とする。
- ・ 5年学級対抗リレーについては各学級男子2名、女子2名出場を原則とする。
- ・ 学校対抗リレーは、男女別で競技を行う。小規模校で学校対抗リレーのチーム編成が男女混合になった場合の出場は、男女どちらの部も可とする。ただし、記録は男子の部のものとする。
- ・ 学級・学校対抗リレーは、1走のみセパレートコース、2走のテークオーバーゾーン以降をオープンコースとする。
- ・ 児童の体力面を考慮し、800m・1000mに出場する児童は、一般100m走には出場しない。
- ・ その他細部についてはえびの市小学校体育連盟による競技規則を適用する。

(7) 日程

- ① 開会式 9:00～9:10 ② 記録会 9:35～12:00
- ③ 閉会式 12:15～12:25 ④ 昼食・休憩 12:25～13:25

トラック競技				フィールド競技				
(8)	1	5年女子	100m走	一般・選抜	6年男女	走り幅跳び	選抜	
	2	5年男子	100m走	一般・選抜				
	3	5年男女	800m・1000m走	選抜				
	4	6年男女	800m・1000m走	選抜	5年男女	走り幅跳び	選抜	
	表彰	5	6年男子	50mハードル走				一般・選抜
	彰	6	6年女子	50mハードル走	一般・選抜			
	各	7	5年女子	50mハードル走	一般・選抜	6年男女	ソフトボール投げ	選抜
		8	5年男子	50mハードル走	一般・選抜			
	個	9	6年男子	100m走	一般・選抜	5年男女	ソフトボール投げ	選抜
		大	10	6年女子	100m走			
	種	1	5年男女	学級対抗リレー	選抜			
		目	12	6年男女	学校対抗リレー			

リレー種目3位まで入賞とする。

(9) 反省

- 雨天時に対応したプログラムに変更したおかげで、スムーズに競技ができた。
- 本年度も午前中で競技が終了し、よかった。
- 選抜種目の出場人数をもっと増やすと良い。
- 競技が全て終わり、各校混合で和やかな雰囲気でお弁当を食べる姿がよかった。

### Ⅲ 研究部のあゆみ

#### 1 研究主題

「わかる・できる・かかわる授業の創造と展開」  
～器械運動領域の指導方法の工夫を通して～

#### 2 研究目標

- 児童が仲間や学習に主体的にかかわり、運動の楽しさや喜びを味わうことの出来る体育科学習の指導方法を究明する。

#### 3 研究仮説

- 器械運動領域において、タブレット端末を主とした ICT の活用の促進及び学習環境の工夫を行えば、児童が仲間や学習と主体的にかかわり、運動の楽しさや喜びを味わうことができるであろう。

#### 4 研究計画

年度	一昨年度	昨年度	本年度
研究内容	○ 器械運動領域(マット運動・跳び箱運動)における教師及び児童へのアンケート調査	○ アンケート結果をもとに、わかる・できる・かかわる授業づくりのための実践及び検証	○ 指導法の周知及び幅広い実践 ○ 研究のまとめ

#### 5 研究の実際

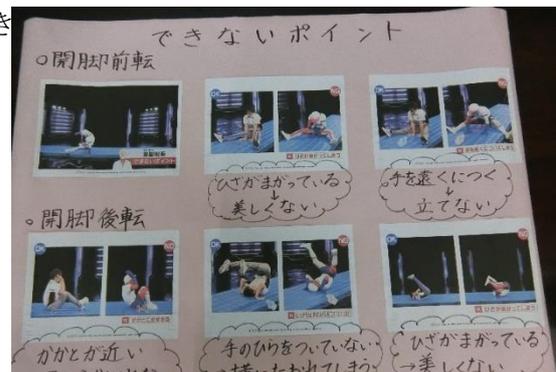
##### (1) 指導法の周知の在り方と幅広い実践に向けての工夫

###### ① ICT を活用した授業推進に向けての各学校における紹介

各学校の体力向上プランに ICT を活用した体育の授業の実践計画を取り入れたり、職員体育研修等を通して ICT を活用した授業の利点を説明したりし、より多くの学級で取り組んでもらえるようにした。

###### ② 「NHK for school」教材のコマ送り画像の掲示

児童が見た動画のコマ送り画像を印刷し、廊下に掲示した。水泳や器械運動など、プールや体育館に行かなければできない単元でも、常時掲示しておくことで、休み時間に掲示物を見ながら、議論する姿が



- 「正しい開脚前転のポイント」
- ① しゃがんだ状態より少し高い位置から
  - ② 手は横一直線に着ける
  - ③ 頭の後ろ→背中→腰の順で着ける
  - ④ ひざを伸ばし、股の近くにつく
  - ⑤ ついた手を見たまま起き上がる

- 「正しい開脚前・後転にならないポイント」
- ① 美しい → ひざが伸びていない
  - ② 立てない → 手を遠くに着いている

##### (2) 各学校における実践

###### ① 映像資料の活用



#### ア 「NHK for school」の映像教材の活用

児童が様々な運動技能を身に付ける際、その技の動きのポイントを、部分的に、そして演技全体として捉えることは、児童がその技能を習得していく上で大変重要である。そこで、動きのより良いイメージをつくることを目的に、以下のような場面・方法で、模範としての動画資料を視聴させることとした。「できるポイント」「できないポイント」が示されており、児童は映像記録の動きのポイントを意識しながら練習に取り組んだ。



#### イ 体操選手の競技映像の活用

体操選手の競技の様子をもとに、技と技のつなぎ目をどのようにしているか考えさせた。これにより、児童は「足を交差し、前転系の技から後転系の技へつなぐ」という方法以外に、「ステップしながら移動する」「小刻みにジャンプしながら体の向きを変える」「片足を水

- 「立ち方」「歩き方」「方向変換」のしかたでもちよつとした工夫でかっこよくなるんだ。
- マットをいくつも組み合わせて同じように四角い空間にすれば、いろんなつなぎ技に挑戦できるな。

#### ② タブレット型 PC の効果的活用

自分自身の演技を客観的に観ることができれば、児童は仲間との対話の中で、より主体的に自分の技能を高めていくことができるであろう、という考えのもと、タブレット型 PC を用いた以下のような授業実践に取り組んだ。



【視点を定めての動きの撮影】



【映像をもとに教え合っている様子】

ただタブレットを活用する際、全体体像を撮影して、そこから課題点や修正点を見出す作業をすると、活動時間が短くなり、運動量が確保できない。そこで、「回転前の姿勢と手を着いた時」「回転している時の体の着き方」「回転した後の膝」など、映像教材をもとに、ポイントを絞って撮影することで、ICT のスムーズな活用をした。

### 6 成果と課題

#### (1) 成果

- ICT を活用した掲示物を廊下等に掲示することで、ICT を活用することの利点を他学年にも具体的に周知する手立てとなった。
- タブレットでの撮影場数を限定することで効率良く ICT 機器を活用できるようになった。
- 自分の技の改善や友達との教え合いに大いに役立ったという児童の感想が多く見られた。

#### (2) 課題

- 研究の成果を市内全小学校に周知することで、体力向上に向けての指導法の更なる改善を図ってきたい。